

「災害がおきたら」を外

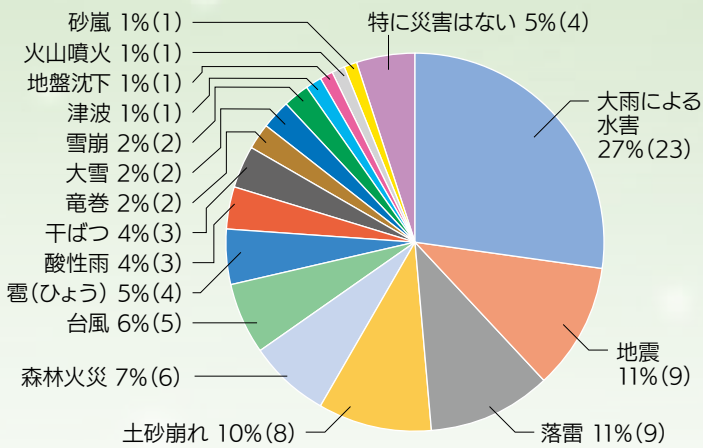
大きな災害がおきたとき、その経験がなかったら、
共に災害を乗り越えるために、まずは相手の状況を理解し、寄り添うこと

外国人市民や留学生に「防災アンケート」

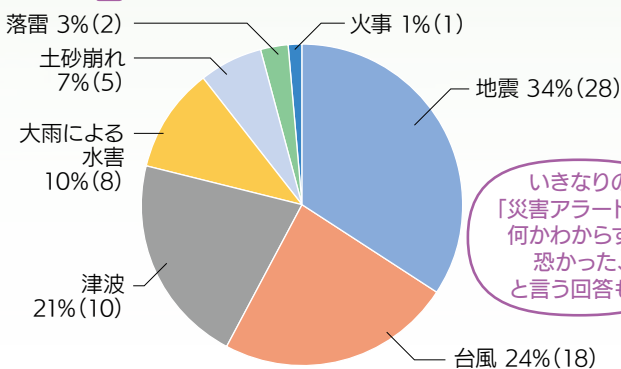
川崎市国際交流協会に関わりのある外国人市民や川崎市親善留学生に、防災についてアンケートをとりました。滞在年数は、今年来日した人から、10年以上家族と一緒に住んでいる人までさまざまです。コメントは抜粋して掲載しています。

(回答数31、全て複数回答)

Q あなたの出身地ではどのような災害が?



Q 日本に来て、こわい!と思った災害は?



いきなりの「災害アラート」が何かわからずに恐かった、と言う回答も!

Q 災害時に知りたかったこと、必要だと思ったことは?

- 東日本大震災の時、日本に来て間もなかったので防災の知識がまったくなかった。避難所がどこにあるか、知りたかった。
- 3.11の時、スーパーから食料品がきえた。いつ、どこで、食べものが手に入るか、知りたかった。
- 避難する場所や自分がとるべき行動。避難ルート。避難する際に必要な持ち物。

- 停電したとき、スマホの予備のバッテリーが必要だと思った。
- 地震で公共交通機関がとまったので、会社に泊まった。帰宅困難者のための対策が必要だと感じた。

「かわさき防災アプリ」(川崎市)



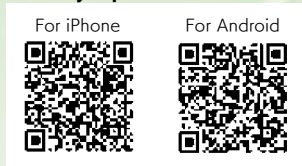
英語・中国語・韓国・朝鮮語で、防災情報や災害情報が見られるよ!

避難所・避難場所、帰宅できない時の一時滞在施設もわかる!

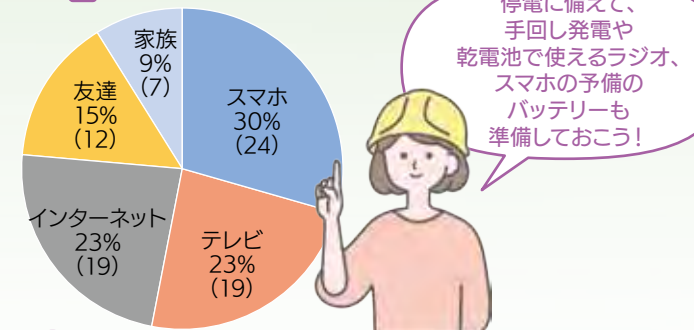
家族・友達と連絡をとるための「災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板」もチェック!

15言語で災害情報や避難情報が見られる!

災害時情報提供アプリ「Safety tips」(観光庁)



Q 災害時、どこから情報をさがす?



停電に備えて、手回し発電や乾電池で使えるラジオ、スマホの予備のバッテリーも準備しておこう!

Q 災害時のために、どのようなものを準備している?

自宅で過ごすために

飲料水、ドライフード・レトルト食品・缶詰(3日~7日分)、ペット用の水と食料、発電機、電池、カセットコンロ、簡易トイレなど

避難所に持っていくために

防災のための基本セット(水・保存食・笛・アルミシート・軍手・歯ブラシ・ウェットティッシュなど)が入ったリュック、いつも飲んでいる薬、応急処置ができる薬箱、マスク、抗菌ジェル、タオル、着替え、防寒衣類、懐中電灯(ライト)、電池、避難所までのルートマップ、寝袋、テント、使い捨てトイレ、重要書類や証明書など

ペットの災害対策(川崎市)



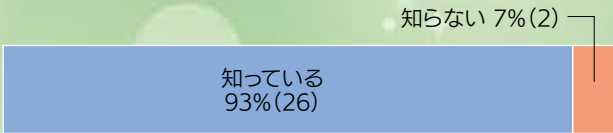
ペットの飼い主のための防災手帳(川崎市)



国人市民と共に考える

わかる言葉で情報が得られなかったら、不安になってしまうでしょう。
 が大切です。そのために、普段から「もしも」のときをイメージし、準備をしておきましょう。

Q あなたや家族は避難所(ひなんじょ)の場所を知っている?



大きな地震がおきたとき

避難所に逃げる
タイミングも大切!

家が壊れていないときは
家にいましょう

家が壊れた
近くで火事が起きた
避難情報(逃げる お知らせ)がでた

逃げましょう!

いっとき ひなん ばしょ
一時避難場所
最初に逃げる場所
近くの公園、空き地

こういき ひなん ばしょ
広域避難場所
大きな火事のときなど、逃げる場所
大きな公園・緑地

家で生活できないとき

避難所が危ないとき

避難所

近くの学校など

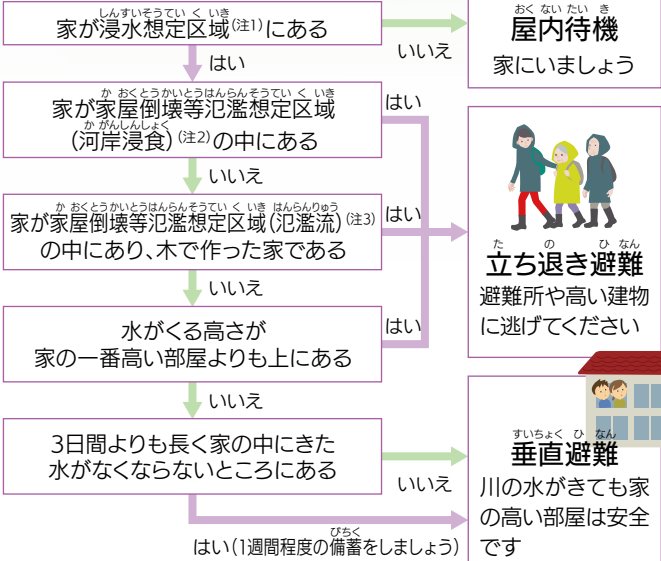
自分の家

危険がなくなってから
帰りましょう

※洪水ハザードマップも
一緒に見ましょう



洪水がおきたとき



(注1)家に 水がくる 危険(きけん) がある ところ

(注2)家が ながされる 危険 がある ところ

(注3)家が こわれる 危険 がある ところ

※「備える。かわさき」(やさしい日本語版)から一部転載
 これは多言語版もあり、区役所・国際交流センターでもらえる

川崎市国際交流協会の 取り組みにフォーカス!

「災害時多言語支援センター」

大きな災害がおきたときに、「災害時多言語支援センター」を川崎市国際交流センターに立ち上げ、以下のサポートをおこないます。

- 川崎市が発信する重要なお知らせを多言語に翻訳し、川崎市や川崎市国際交流センターのホームページ、かわさきFMを通して情報発信。
- 外国人相談ワンストップセンターの相談員が外国人の相談に対応。
 この「災害時多言語支援センター」設置のための訓練を毎年、外国人を含む災害時支援ボランティアと連携しておこなっています。

「災害時支援ボランティア」「やさしい日本語ボランティア」の養成

災害時における地域の避難所での活動、お知らせのための多言語および「やさしい日本語」への翻訳など、さまざまな場面で外国人市民のサポートができるように「災害時支援ボランティア」養成セミナーや「やさしい日本語ボランティア」養成セミナーを開催しています。



災害時支援ボランティア養成セミナー

「外国人市民とともに防災訓練」

毎年2月に、外国人市民や地域の皆さんと一緒に防災訓練をおこなっています。昨年は、はしご車(消防車)による高層階からの避難体験をはじめ、町内会の皆さんによる「避難所での防寒対策として、新聞紙スリッパの作り方」講習もおこないました。

お知らせ!

起震車での地震体験、煙体験ハウスで煙体験、水消火器で消火訓練、119番への通報訓練、AEDの使い方と心肺蘇生訓練ができます。“もしも”の時のために、体験しましょう!

日時 2024年2月29日10時~12時
 場所 川崎市国際交流センター
 無料、自由参加

災害時に役立つ グッズをプレゼント!



はしご車で高層階からの避難体験

AEDの使い方と心肺蘇生訓練

(文、編集:川崎市国際交流協会 加藤恵美、協力:川崎市危機管理本部)